

# そよかぜ

2014年10月 Vol.16

秋号

## 病院の理念

私たちは  
「ゆるぎない信頼、心からの満足」  
をしていただける病院を目指します。  
人としての尊厳を重視した上で専門医療(国  
の定める政策医療)に誇りをもち、地域の  
皆様が安心して心身ともに癒される医療を  
受けていただけるよう全力を尽くします。

## CONTENTS

摂食嚥下専門外来を始めました	〇〇〇〇〇2
肺炎球菌感染症とワクチンについて	〇〇〇〇〇3
栄養対策チーム活動の取り組み	〇〇〇〇〇4
新人看護師たちの成長を感じた集合研修	〇〇〇〇〇5
職場紹介 療育指導室	〇〇〇〇〇6
特別室のご案内	〇〇〇〇〇7
南岡山医療センターマラソン部の紹介	〇〇〇〇〇8

# 摂食嚥下専門外来を始めました

リハビリテーション科  
言語聴覚士 高畑 友里

ここ数年、高齢化の進行とともに、嚥下障害をお持ちの患者様が増加してまいりました。また、最近では、高齢者のサルコペニアによる嚥下障害が注目されております。

そこで当院では、摂食嚥下外来（月曜日および木曜日の9:30～10:00）を開院いたしました。

以前は主に入院患者様を対象としておりましたが、この度外来患者様に対しての摂食嚥下評価および指導にも取り組むことにしました。また、病態や障害の程度を的確に評価するため、必要に応じて嚥下内視鏡検査（VE）、嚥下造影検査（VF）を実施し、検査結果をもとに、患者様に合った摂食・嚥下指導を実施しています。

流れとしては、まずは摂食嚥下外来を受診していただきます。（完全予約制になっておりますので、必ず事前に地域医療連携室までご相談ください）。そこで、診察および嚥下に関する問診、スクリーニング等を行います。その結果によりVEおよびVFが必要となれば、日時を調整したうえで後日検査を実施します。またその際、高齢者や障害者の方は体力低下や低栄養等による身体的な負担が大きいことを考慮し、日帰り入院対応としています。ご希望があれば経過観察目的で1泊2日にすることも可能です。

VE・VF検査に当たっては、耳鼻咽喉科医師、リハビリテーション科医師を中心に、摂食嚥下認定看護師、言語聴覚士、診療放射線技師等がチームとなって関わらせていただき、検査結果ならびに栄養状態をふまえて、患者様ごとに適切な食事姿勢・食事形態・食べ方等をアドバイスしていきます。

検査結果、今後の方針については検査後にご本人・ご家族へ説明させて頂くとともに、ご紹介いただいた病院様へは後日書面にてご報告いたします。

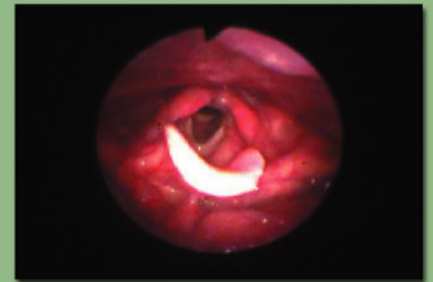
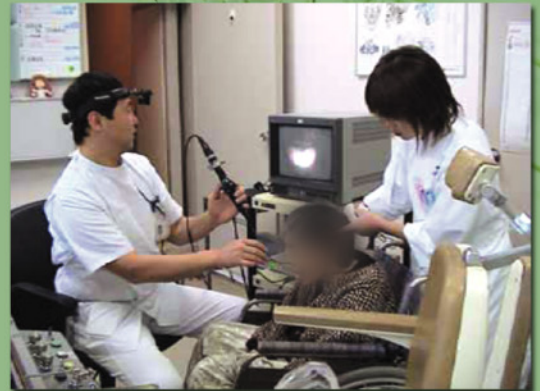
嚥下障害は、日常生活においてすぐには気づきにくい障害です。摂食嚥下外来の受診を健康診断の一つと考えて定期的にチェックし、誤嚥性肺炎等の予防にお役立てください。

ご紹介の際は、地域医療連携室にお問い合わせ下さい。

## 摂食嚥下外来（完全予約制）

	月	火	水	木	金
9:30～10:00	●			●	

嚥下内視鏡検査（VE）



嚥下造影検査（VF）



お問い合わせ先 地域医療連携室 TEL.086-482-3031

# 肺炎球菌感染症とワクチンについて

肺炎球菌は市中肺炎の起炎菌として最も重要であり、それ以外にも慢性呼吸器感染症、副鼻腔炎、敗血症、髄膜炎等の原因となります。

わが国で現在成人を中心に広く用いられている肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌感染症で高頻度に認められる23種類の莢膜（きょうまく）型の肺炎球菌を型別に培養し、殺菌後に抽出、精製した莢膜ポリサッカライド(多糖体)を混合した液剤です。このワクチンの接種によって、含有するすべての莢膜型に対する抗体を誘導できることが臨床的に確認されています。

当院でも、10月1日より23価肺炎球菌莢膜多糖体ワクチン（ニューモバックスNP）の定期接種を行っております。

薬剤師 児玉 沙織



## 23価肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンの予防接種対象と概要

接種対象者は、2歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い以下の方です。

- 1) 脾臓摘出患者における肺炎球菌による感染症の発症予防(健康保険適応あり)
- 2) 肺炎球菌による感染症の予防

- (1) 鎌状赤血球疾患、あるいはその他の原因で脾機能不全である患者
- (2) 心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある患者
- (3) 高齢者(65歳以上の方)
- (4) 免疫抑制作用を有する治療が予定されている方で、治療開始まで少なくとも14日以上の上の余裕のある患者

このワクチンは1回0.5mLを筋肉内または皮下に注射します。健康な人では、少なくとも接種後5年間は効果が持続するとされており、インフルエンザワクチンのように毎年接種する必要はありません。1年中どの時期に接種しても良く、上記のような接種対象者に対しては、できるだけ早く接種することが望ましいと考えられます。また、2回目の接種をすると注射部位の局所反応が強くと現れることがあるということから、わが国では1回しか接種することができないという規定がありましたが、日本感染症学会等から2回接種によるメリットにより、平成21年10月に再接種が認められました。ただし、過去5年以内に接種を受けたことがある人においては、初回接種よりも局所反応の程度と頻度が高いことから、再接種にあたっては、その必要性を慎重に考慮して、十分な間隔をあけて接種することが必要です。

## 平成26年10月1日から高齢者を対象とした23価肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンが定期接種となりました。

### 対象者：

- (1)平成26年度に各年齢になる方

65歳となる方	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳となる方	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳となる方	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳となる方	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳となる方	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳となる方	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳となる方	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳となる方	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上の方	大正3年4月1日以前の生まれ

- (2) 60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

なお、平成26年～30年度までの5年間は経過措置として、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳になる年度の方も定期接種として接種可能です。

また平成26年度は、平成25年度の末日に100歳以上の方も定期接種の対象となります。

## 23価肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンの副反応

接種後に注射部位の腫脹や疼痛、ときに軽微な発熱がみられることがありますが、通常1～2日で消失します。副反応の主なものは注射部位疼痛、注射部位発赤、注射部位腫脹、頭痛、腋窩痛、注射部位掻痒感です。



# 栄養対策チーム 活動の取り組み

栄養対策チーム 外来看護師長 宮本 敏子



## NSTチーム

当院では、2004年に日本静脈経腸栄養学会（JSPEN）と日本栄養療法推進協議会（JCNT）からNST稼働施設の認定を受けています。栄養障害の状態にある患者様や栄養管理をしなければ栄養障害の状態になることが見込まれる患者様に対し、生活の質の向上、原疾患の治癒促進及び感染症等の合併症予防等を目的として、栄養管理に係る医師、管理栄養士、薬剤師、摂食嚥下認定看護師、看護師、言語聴覚士、臨床検査技師、医事などの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い最良の方法で栄養支援をするチーム活動です。当院入院患者様の70%が70歳以上の方であり、栄養状態の把握と管理が非常に重要になっています。NSTチームは「美味しく！一口でも多く」をスローガンに掲げ活動しており、NST回診を毎週水曜日16時から病棟にて実施しています。NST介入の依頼があった患者様に対して、まず栄養状態や褥瘡の有無などを調べ（スクリーニング）、それらをもとに栄養管理が必要かどうかを判断し（アセスメント）、それに基づき患者様に合った栄養管理方法を選択するという手順で行います。また嚥下状態が悪い患者様には、摂食嚥下チームも介入し摂食嚥下検査を実施・評価し摂食嚥下療法を行っています。NSTチーム活動により患者様の満足感及び原疾患の治癒の促進に繋がる支援となっています。

## 褥瘡対策チーム

神経・筋疾患、重症心身障害児（者）、及び高齢者の担送患者様が、69%を占めており褥瘡発生のリスクが高い状況です。院内での褥瘡発生ゼロを目指し、褥瘡のある患者様、在宅療養で褥瘡を発症された患者様も含め、褥瘡対策チームが、より適切な早期治療を目指すため、多職種専門性を用いて褥瘡ケアに取り組む活動を行っています。今年度現在の院内褥瘡発生率は0.7～1.5%、褥瘡有病率4～5%です。まず入院患者全員に褥瘡対策危険因子評価表を用い評価し、危険因子が一つ以上あると早期に褥瘡対策を開始しています。1. 高機能体圧分散マットレスの使用、2. 医師・看護師の初期診療・処置対応、ができていく事により褥瘡発生率が低いと思われま。月に一度の栄養サポートチーム会議時間に、NST回診とリンクして褥瘡回診を行い、早期介入と定期評価を行っています。褥瘡の病態に応じたケアの実践、体圧分散マットレスの適正、褥瘡治療計画を立案、栄養状態の評価、適切な被覆材の選択等、ベッドサイドカンファレンスを実施しています。その結果、受け持ち看護師、栄養対策委員の意識にも変化があり、細やかなケアの実践ができ褥瘡が治癒することでチーム医療のやりがいを感じています。

今後も栄養対策（NST・褥瘡・摂食嚥下）チームの活動の充実を図り、効果的な栄養管理を目指していきます。



# 新人看護師たちの成長を感じた集合研修

## 9月：『受け持ち看護師の役割とは』

教育研修係長(看護師長) 藤本 みどり

4月に就職した新人たちは、仕事上の疲れや緊張はありますが、元気に頑張っています。半年が経過した現在では、継続受け持ち患者の看護過程の展開に主体的に取り組んでいます。

今回の研修では受け持ち看護師の役割について学ぶ研修を行いました。

まず、患者様や家族の方の希望に沿うためにできることは何か考え、先輩のアドバイスを受けながら行動した結果と学びました。

受け持ち患者の状態をできるだけ把握し、患者個々の特徴をつかみ、「私の受け持ち患者様」という意識を非常に高く持っていることに驚きを感じました。先輩たちの指導のすごさでもあります。発表後の意見交換も積極的な発言が多く、実りのある研修となりました。そして、受け持ち看護師の役割とは、患者様の目標に向かって継続した看護を提供するために中心となる看護師だと理解しています。今後は多職種とも連携できるように働きかけたいと意欲を示しました。4月の緊張と不安に押しつぶされそうな表情から、頼もしい看護師になっていることを実感した研修でした。

今までの経験に少し自信を持ち、後半では任されることにチャレンジできるように成長を支えていきたいと思っています。



### 1年後の私!!

所属部署の看護の専門性を理解して、看護実践に主体的に取り組む看護師に成長

**3月** 新人バッジを外して、さあ先輩ナースです

**2月** 私の看護  
ケーススタディー発表

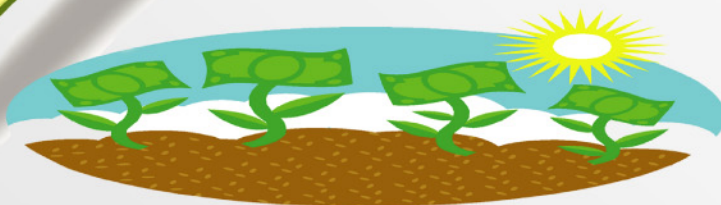
**10月** 少し自信・そしてチャレンジ  
医療安全・感染管理  
(任されることと私の責任)

**7月** 夜勤がやって来る  
今できることとできないこと  
そして必ず行うことは何か

**9月** 受け持ち看護師の役割  
私の受け持ち患者様

**6月** リアルティ  
ショックの緩和  
今の心境 一句読む

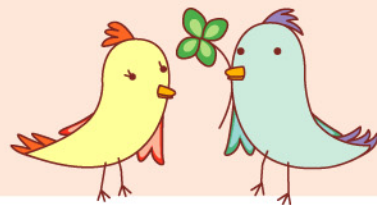
**4月** 緊張と期待  
新人バッジ



新人4人:それぞれの個性をたいせつに成長しています

# 職場 紹介

## 療育指導室



主任保育士 山田 恵美  
主任児童指導員 安藝 彩

療育指導室は、重症心身障害児・者の健全育成と福祉の増進を目的に、井上療育指導科医長を筆頭に、保育士（13名）と児童指導員（3名）が配置されています。

当院では、重症心身障害児・者を対象に、障害者総合支援法・児童福祉法に基づいた福祉サービスを提供しており、療育指導室は福祉職として様々な業務を行っています。

業務内容として、個別支援計画の作成・療育の実施・日常生活の指導・行事の企画・福祉に関する相談受付・他機関との連絡調整・家族への支援等となります。

利用者様及びご家族がよりよい生活を送ることが出来るように、南岡山医療センターのチーム医療の一員として、支援させていただいております。

「入所」「短期入所」「通所」それぞれのサービスについて紹介させていただきます。

### 入所 (つくし病棟)

重症心身障害児・者を対象に、生活支援や医療的ケア・治療を目的として、つくし病棟に入所されています。定員は117名です。

### 短期入所 (つくし病棟)

在宅支援の一環として、重症心身障害児・者を対象に、つくし病棟にて一時的に入所されています。定員は3名です。

### 通所 (つくし園)

在宅支援の一環として、重症心身障害児・者を対象に日中活動の場として療育活動を提供しています。定員は15名です。

以上のサービス利用のご相談を随時受け付けております。お問い合わせはお気軽に療育指導室までお願いいたします。



# 特別室のご案内

医事係 山村 知央

より快適な入院生活を過ごしていただくために、また、静かな環境の中で安心して療養生活を過ごしていただくために、特別室を設けております。

内訳は1階病棟8床、2階西病棟1床、3階病棟6床、4階病棟6床の計21床です。

静かで快適な個室として、またご家族との団らんの場としてご利用下さい。

特別室をご希望の方は、病棟のスタッフまでご相談下さい。



A個室



C個室



有料2床室

## 有料個室の料金と備品について

なお、下記の個室を利用された場合、別途差額室料が必要です。(料金表参照)

ご利用の開始は申し込まれて入室した日からとなり、終期は退室された日となります。

午前0時を起点に計算されますので予め承知おきください。

## [特別室使用料金 (1日につき)、付属設備]

区 分		A個室		B個室	C個室	有料2床室
負 担 金		7,020円		6,480円	5,400円	2,700円
該 当 病 棟	1階病棟	106号室	105号室	109・110号室	111・112 113・114号室	
	2階西病棟		206号室			
	3階病棟		308・314号室		310・311 312・326号室	
	4階病棟		402・408 409・410号室			426号室
	テレビ	●	●	●	●	●
	冷蔵庫	●	●	●	●	—
	洗面所	●	●	●	●	▲
	応接セット	●	●	●	●	●
	ロッカー	●	●	●	●	●
	エアコン	●	●	●	●	▲
	トイレ	●	●	●	●	▲
	シャワー	—	●	●	—	—
	バス	●	—	—	—	—

▲共同

## 南岡山医療センターマラソン部の紹介

南岡山医療センターマラソン部は、非公認の部活ではありますが、医局、看護部、地域医療連携室、薬剤科、栄養管理室、リハビリ科、検査科、事務職員が集まり、いろんな大会に参加しています。目標も、健康、食べる（グルメラン）、決起集会と打ち上げ（小職）、アスリートを目指して楽しく走っています。それぞれが、完走や自己ベストを更新した喜びで、走った後の写真はみんないい笑顔です。みんな大会に出る種目（距離）も目標タイムも動機もそれぞれ違ってます。だから、目標は次なる自分。比べるは少し前の自分。一番頑張ったのは他の部員。走るだけなら辛いことですが、応援してもらってありがたみを知り、応援する側に回る。マラソンを通じて知り合い、仲よくなることで仕事でもお互いが頼ったり、相談しやくなっていますよ。そうして、仕事が少しでも楽しくなればいいなと思ってます。いろんな自分を発見してみませんか。そして、笑顔あふれるいい出会いをしてみませんか。いい出逢いは一生の財産です。興味のある方は、是非！

マラソン部 縁会部長・広報担当 専門職 山崎 理志



### 編集後記

秋も深まり、朝夕だけでなく、日中も少し涼しくなってきました。先日、念願のロードバイクを購入することができました。乗り始めの頃は腕や脚が痛くなり、長い距離を走ると苦痛を感じていましたが、徐々に慣れ始め車移動では気づけなかった道端の小さな花や季節の変化を感じることができるようになりました。路上や休憩所では同じ趣味の方達とも交流することができ、とても充実した日々を過ごすことができます。皆さんも心地よい風を感じるサイクリングに出かけてみませんか。

編集委員 M



## 独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066  
電話 (086) 482-1121 (代表)  
F A X (086) 482-3883  
<http://www.sokayama.jp/>

